

剣道連盟

沿革

幕別町の剣道連盟の発足は、昭和40年である。同年春に剣道スポーツ少年団が結成され、この指導育成のため、当時の剣道愛好者全員が結集したのが起りである。

毎週火・金の日少年の指導をしながら、自己の技の練磨に励んできた。会員は若干転入、転出で異動はあるが、現在は13名の会員が加盟して活動している。

役員は全十勝剣道連盟幕別支部長 山口秀勝、町剣道連盟会長 大久保正司、理事長 高橋秀昂、の各氏等が発足当時から継続している。

現況

現在の活動状況

イ、青少年の健全育成

青少年の心身の健全な育成を図るため、スポーツ少年団の指導育成に力を注いでいるが、現在は幕別、札内、糠内の3ヶ所で毎週2回指導している。

ロ、会員の練磨

会員全員がお互いに技の練磨のため、青少年会館で週2回練習している。

ハ、級の審査会

毎年春秋年2回青少年及び一般新人のための級審査会を実施している。

ニ、各種大会の開催

剣道の振興を目的として、町内の青少年を対象に年2回、青少年剣道大会を開催している。また、十勝管内の小学生、中学生、及び高校生、一般社会人を対象にした、全十勝剣道大会を毎年1回主催している。この大会は十勝管内で開かれる各種大会の中でも一番規模の大きいもので、毎年管内から500名を超える剣士が参加して行なわれ、今年で10回をかぞえている。

ホ、各種大会への参加

十勝管内で各種の大会が開催されるが、これ等大会に積極的に参加して、日頃の練習の成果を試みている。特に毎年開かれる“道民スポーツ十勝夏季大会”では、毎年参加して優秀な成績を収めている。

第1回道民スポーツ十勝夏季大会	優勝
第2回	準優勝
第3回	優勝
第5回	3位



大会風景

第8回道民スポーツ十勝夏季大会 優勝

第9回 # 準優勝

現会員名

若山進・佐藤俊克・下直弘・橋本伸也・妹尾英美・橋本正司・山田一徳・高橋秀昂・寺岡徹男・
鳥羽誠市・大久保正司・山口秀勝・山角芳信

その他

昭和52年には、剣道連盟が永年本町のスポーツの振興に貢献してきたのが認められ、幕別町表彰条例に基づき、幕別町スポーツ奨励賞を受賞した。

展 望

剣道は理屈でなく、剣道そのものが即実生活であり、心と身の鍛錬が目的であります。

なお、剣道の効果の徳目を挙げると次のようなものであります。

1. 身体を強健にし、動作活発、敏捷となる。
2. 姿勢正しく態度厳肅、自らおかし難い風格を備える。
3. 判断力、決断力が養成される。
4. 油断のない果敢不動の人格を養成する。
5. 生死を超越せる無念無想の三昧境に到達する。
6. 礼儀、勇気、信義、質素等の精神を養成する。
7. 大胆細心にして腹の人となる。

以上のようなことから、特に現代のように乱れた思想の風潮の中に育つ青少年の、心身共に健全な育成のために、会員一同頑張って指導に当たって行きたい。人間は一生を通して自己研鑽のため努力しなければならないが、そういう意味で、一般社会人の方の老若男女を問わず加入希望があれば、諸手を挙げて歓迎したい。いずれにしても剣道連盟は、剣道を通して、明るい社会の形成、住みよい幕別町建設のため、活動を一段と強めて行きたい。